

# Le Semeur

[ルスメール] = 種をまく人

【教育相談】の種をまく人でありたい  
こどもの心に【愛の種】をまきたい  
自分の心に【ゆとりの種】をまきたい

日本学校教育相談学会山梨県支部 会報  
発行 令和元年度 No. 3 9月10日  
発行者 山梨県支部 事務局  
発行所 山梨県支部 事務局  
住所 北杜市長坂町中丸 433-16

## 令和元年度 第3回研修会の概要

—参加者全員が積極的に参加して、充実した研修会でした。—

### 1. 期日 時間 会場

期日	令和元年（2019年）8月31日（土）
時間	14時～16時30分
会場	アトリエ・レイ

### 2. 研修会内容 「事例研究会」

#### ① 事例提供者より事例提供（およそ10分） 中学2年女子の事例

概要を記述した資料を提示し、最近の出来事を簡潔に短時間で提供する。

\* 事例提供者は、困っていること・検討してほしいことや課題などを焦点化して提供する。参加者はメモを取りながら聞く。

#### ② 情報収集（およそ20分）

参加者が質問するときの留意点

\* 生徒の全体像をつかみ、具体的な支援策につながるようにする。

#### ③ 個人作業（およそ15分）

参加者は情報を基に、自分なりの事例の全体像を明らかにする。

解決すべき問題点を明確にし、具体策を理由とともにまとめる。

#### ④ 話し合い（およそ30分）

解決すべき問題点と今後の対応について、参加者相互で話し合う。

具体的な対応を明らかにする。

#### ⑤ 振り返り（およそ10分）

☆ 司会者を中心に行いましたが、②と③は明確に分けずに進めました。また、スーパーバイザーにも随時、加わっていただきました。

☆ 当該校から、事例提供について、深いご理解とご承認をいただきました。

☆ この研究会以外の場では、参加者は、この事例について言及しないという確認をいたしました。したがって、当紙面では内容を割愛しています。

☆ この事例以外についても、2名の参加者から、口頭で事例提供がありました。土曜の午後の2時間半が、瞬く間に過ぎました。

### 3 参加者の感想（⑤の振り返り から）

- ① 夏休み明けで、切り替える時期で良かったです。いろいろ話をする中で、状況や課題が明らかになりました。生徒が心を開いて話ができる存在がいるということの大切さや、かけがえのなさがよくわかりました。
- ② 自分が直接かかわりのない児童生徒に対して、どうアプローチしていくのかを考えさせられた。事例提供してくれた先生に感謝するとともに事例提供者が得をするような検討会をしてほしい。
- ③ 今回の事例から、子どもたちの問題行動そのものにだけ目を向けるのではなく、行動の目的や背景を抱えるものまで理解して対応しなければならないと感じた。また、子どもたちには、自分を認めてくれる人、真剣に話を聞いてくれる人が必要。そのために子どもたちとの信頼関係をつくれる教師でありたいと自分のことを振り返る良い機会になった。
- ④ やっぱり寄り添ってくれる人がいるかないかで、人は変わるかもしれない。言うは易く事は難し（かたし）かもしれませんが。難しいケース、本当に難しいと思いました。
- ⑤ 問題を抱えるクライアントのアセスメントが重要であること、よりよい解決に向けて、ジェノグラム・エコマップ・計画・役割分担等、P D C Aサイクルの利用が必要であると感じました。
- ⑥ 前の学校で、物を盗む、隠す児童がいました。担任、管理職、S S W、S Cと連携して取り組みました。つなぎ役は教頭でした。担任はその子の自己肯定感を高める支援をしました。「ほめる」「自信を持たせる」「過程を大切にする（失敗したとき）」。母（父）には私に対応しました。コミュニケーションを多くとり情報交換しました。本人と母にはS S W、S Cに定期的に話をしてもらい、本人の心の状態や誤った認知をしていることを共通理解しました。それぞれの機能をうまく連携させることが大切だと思いました。Aちゃんが何に困っているのか、心を開く環境を心掛ける。今はメタ認知できないと思うが、徐々に心を開くことのできるカウンセリングが必要だと思います。
- ⑦ 事例に関係して色んな考え方が出てきて、とてもよかった。
- ⑧ 話し合いの中で、対象生徒とその周りにいる生徒とのやり取りの重要性に言及した発言には共感を覚えた。とかく大人と対象のこどもにのみ目をやりがちだが、子ども同士で育ちあえるようになるために、大人がどう関わるかも大切？
- ⑨ 虐待は、いじめ・不登校と並んで重大な課題となっている。命にかかわる重大な問題でありながら、学校現場の理解は十分とは言えない状況が改めて理解できた。今後も、研修会のテーマとしてとりあげていく必要がある。貴重な提案をしていただき、とても有意義であった。

（文責 土橋）

#### 第4回研修会のご案内

日	時	2019年10月12日（土）	14:00～16:30
内	容	スクールソーシャルワーカー（S S W）として学んだこと —現場の教職員及びこれからS S Wを目指そうとする方のために—	
講	師	本学会副会長 山梨県教育委員会S S W 依田勝芳先生	
会	場	小瀬スポーツ公園 武道館研修室（予定）	
担	当	丸山 智加子先生	